

東京都下水道事業

# 経営計画2021

暮らしを支え、東京の<sup>あ</sup>未来<sup>す</sup>を創る下水道



令和3(2021)年3月

 東京都下水道局



<表紙写真の説明>

① 「砂町水再生センター 第二沈殿池」(江東区)

砂町水再生センターは、墨田区の全部、江東区の大部分及び中央、大田、足立、江戸川各区の一部地域からの下水をきれいに処理し、東京湾に放流しています。

② 「隅田川幹線 接続部」(足立区)

隅田川幹線は、足立区千住地区に降った雨水を收容し、浸水被害を軽減するための下水道幹線です。異なる管径の幹線を地下約40mの大深度で接続させるため、下水道工事としては国内最大規模の凍結工法を採用し施工しました。(P.35,142参照)

③ 「旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設」(荒川区)

旧三河島汚水処分場唧筒場施設は、大正11年に稼働したわが国最初の近代下水処理施設です。室内には、平成11年まで稼働していた10台のポンプが残されています。(P.116参照)

# 「経営計画2021」の策定に当たって

下水道は、日々の暮らしや経済活動によって汚れた水を浄化し、川や海に戻すことで、快適な生活環境と都市の水循環を支えています。また、宅地や道路等に降った雨水を速やかに排除して、市街地を浸水から守る役割を担っており、都民生活や東京の都市活動になくてはならない重要な基幹インフラです。

明治時代に始まった東京の下水道事業は、130年以上の歩みを重ね今日に至っており、大正11（1922）年に三河島の汚水処分場がわが国最初の近代下水処理施設として稼働してから、令和4年で100年という節目の年を迎えます。区部では平成6（1994）年度末に普及率が100%概成し、多摩地域では平成22（2010）年度末に普及率が99%に達しました。その間、高度成長期の都市化の進展によって悪化した東京の川や海の水質は、下水道の普及により大幅に改善され、今では都民の皆さまに親しまれる水辺空間へと生まれ変わりつつあります。

一方で、現在の下水道事業は、時代の大きな変化に伴い解決すべき課題が顕在化しています。初期に整備された下水道管や水再生センターなどは老朽化が進み、機能維持の対策が必要となっています。また、気候変動に伴い激甚化・頻発化する豪雨に対する取組の強化が求められています。さらに、東京の人口減少が目前に迫る中、事業を支える人材の確保などの課題にも適切に対応していく必要があります。

こうした状況の中、下水道の基本的な役割を担い続けるとともに、長期的な視点に立って下水道サービスの更なる向上を図るため、令和3（2021）年度から5年間の事業運営の指針となる「経営計画2021」を策定しました。

この経営計画では、老朽化施設の再構築や浸水対策など、都民の安全を守り、安心して快適な生活を支える施策を着実に推進していきます。また、合流式下水道の改善や処理水質の向上など、良好な水環境の創出に貢献する施策を進めると同時に、地球温暖化対策として温室効果ガスの排出をより一層削減していきます。

さらに、新たな施設運営手法である包括委託を導入し、サービスの向上を目指すとともに、AIを含むデジタル技術の活用や行政手続のオンライン化など、技術革新に対応する様々な技術を導入し、事業のより一層の効率化、利便性の向上に取り組んでいきます。

下水道局では、職員一人ひとりが常にサービスの向上を念頭に、日本の下水道界を牽引するという気概を持って、新しい技術を積極的に取り入れ、次世代の下水道システムを構築していきます。その新たなステージへの第一歩となる、経営計画の達成に向け、職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

令和3（2021）年3月

東京都下水道局長 和賀井 克夫

# 経営計画 2021 目次

<b>第一部 経営方針と取組の概要</b> .....	1
1 経営方針 .....	2
2 計画期間内の主な取組	
・お客さまの安全を守り、安心して快適な生活を支えます .....	4
・良好な水環境と環境負荷の少ない都市の実現に貢献します .....	6
・最少の経費で最良のサービスを安定的に提供します .....	8
3 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 .....	10
4 主な事業指標と目標 .....	12
5 区部と多摩地域の下水道 .....	14
☆コラム① 下水道のしくみ .....	16
☆コラム② 都市の水循環を担う下水道 .....	18
<b>第二部 主要施策の展開</b> .....	19
1 区部の主な整備事業 .....	21
・再構築（下水道管） .....	22
・再構築（水再生センター・ポンプ所） .....	26
・浸水対策 .....	30
☆コラム③ 総力戦で挑む豪雨対策～下水道、河川、まちづくりの連携～ .....	36
☆コラム④ 流出解析シミュレーションを活用した下水道施設の効果検証 .....	38
・震災対策（下水道管） .....	40
・震災対策（水再生センター・ポンプ所） .....	42
・汚泥処理の信頼性強化と効率化 .....	46
・合流式下水道の改善 .....	48
・処理水質の向上 .....	52
○ 施策別事業費・主な実施内容一覧 .....	54
☆コラム⑤ 合流式下水道と分流式下水道 .....	56
☆コラム⑥ 東京湾の更なる水質改善 .....	57
☆コラム⑦ SDGsと下水道事業 .....	58
2 区部における維持管理の充実 .....	59
・下水道管の維持管理 .....	60
・水再生センター・ポンプ所の維持管理 .....	62
・ビルピット排水対策の推進 .....	66
☆コラム⑧ 水質規制のはなし .....	68
3 多摩地域の流域下水道主要施策 .....	69
・再構築 .....	70
・雨水対策 .....	72
☆コラム⑨ 多摩地域の雨水対策（流域下水道雨水幹線） .....	73

・震災対策	74
・処理水質の向上	76
・維持管理の充実	78
・市町村との連携強化	80
・雨天時浸入水対策	82
☆コラム⑩ 雨天時浸入水の概要	83
○施策別事業費・主な実施内容一覧	84
☆コラム⑪ 多摩川の水環境を安定的に支える連絡管	86
4 エネルギー・地球温暖化対策	87
☆コラム⑫ 温室効果ガス削減に向けた挑戦	92
<b>第三部 経営基盤の強化</b>	<b>93</b>
1 サービスの質の向上	95
・技術開発の推進	96
☆コラム⑬ 技術開発の拠点 ～下水道技術研究開発センター～	101
・デジタル化による仕事の進め方の見直し	102
・下水道資源の有効利用	104
・東京下水道の国際展開	108
☆コラム⑭ 下水道台帳情報システムによるデジタル化の取組	110
2 信頼性の向上	111
・危機管理対応の強化	112
・東京下水道の広報戦略	114
・事業運営体制	118
・グループ経営の強化	120
・人材育成と技術力の向上	122
・コンプライアンスの推進	125
☆コラム⑮ 下水道技術実習センター	126
3 持続可能な財政運営	127
・企業努力	128
・財政収支	130
・財政収支の長期推計	134
☆コラム⑯ 下水道の費用負担のしくみ	136
○処理区別重点事業	138
○事業指標、事業効果の一覧	152

